

## 資料 学習のねらいと活動内容

段階	学習内容	時	学習活動	指導上の留意点
学習段階 1	自己肯定観を高めよう。(自己を見つめると共に家族もみつめる)	1	いいところさがし 4人一組で1人につき2分間1人の生徒についてグループみんなでよいところを考え、カードに書く。自分のカードに友達からの「いいところメッセージ」書かれている。それをみて感想を書く。 次に家族一人をあげてその家族の長所を上げワークシートに記入する。課題として家に持ち帰り、家族にワークシートをみせて話し合う。	挨拶リレーとグループ作りでウォーミングアップをしっかりとる。 全員が取り組んでいるか絶えず気を配る。自分が思っている自分と学校の中での自分を比較しながら自己肯定観を高める。家族の長所をあげることにより、家族にも目を向けさせる。(構成的グループエンカウンター)(見通し1・3)
学習段階 2	人とのコミュニケーションについて考えよう。 (特に男女のつきあい方について考える)	1	親友からの相談 ワークシートを読み、自分だったらどうするか、その答えと理由をワークシートに記入する。グループごとに話し合う。全体で意見の要点を整理し、まとめる。専門家の意見をいくつか紹介する。気づいたこと、感じたことをワークシートにまとめる。そのあと、自分はどんな恋愛をしたいのか？理想の相手像は？高校生の付き合い方は？などをグループで考える。グループ学習後発表する。	前時に、自分と家族について考えた。自分のいまの置かれている状況を再確認し、青年期で一番興味のある恋愛について考えさせる。ねらいを明確にいうことで、この時間の意義を強調する。究極の選択をせざるをえないなかで、自分の性について理解するという目的を説明する。特定の意見を支持しないように気をつけながらコメントする。青年期の恋愛について友達の考えと自分の考えを比較する。そして望ましい男女の付き合い方を探らせる。(構成的グループエンカウンター)(見通し1・3)
学習段階 3	就職について考えよう。	1	人生の羅針盤を探せ まず教師が自分自身の進路選択についての体験を話し、それをもとに「人生の羅針盤」とは何かを説明する。各自「好きだ」「やってみたい」と思うことをワークシートに記入し、4人一組でインタビュー形式で語り合う。感想を書き、提出することで、本時のまとめとし、課題として、家族での話し合いを促す。就職について、結婚については班別に同時進行ディスカッションを	教師の自己開示がモデルになるので、コンパクトに話す。自分の将来を立ち止まって考えたときのこと、そのとき何を考えたか、というポイントを押さえた話をする。(構成的グループエンカウンター) (見通し1・3)

		1	<p>多くする。</p> <p>六人の人生</p> <p>ワークシートにある六人の男女の生き方を読み、好きな順位とその理由を述べ合う。気づいたことを6人の人生それぞれについて付箋紙に自分の意見をかき、模造紙に貼り発表し、グループで話し合い、グループの代表が発表する。その発表をきき、最後は自分でまとめる。</p>	<p>ねらいを明確に言うことでこの時間の意義を強調する。生徒の意見に対して特定の意見を支持しないように気をつけながらコメントする。一人一人の人生について長所短所を各自で書くことによりそれぞれの人生について深く考えられるようにする。グループは男女混合にする。(構成的グループエンカウンター)(見通し1・3)</p>
学習段階4	結婚について考えよう	2	<p>性別役割分業について考える</p> <p>「男は仕事、女は家庭」について賛成か反対かその理由をポストイットに記入し、黒板に張る。友達の意見を聞いてさらに深く考え、もう一度意見をいう。まとめとして、本時の授業の感想を書く。</p>	<p>全員が自分の意見を自由に言える雰囲気づくりする。(構成的グループエンカウンター)(見通し1・3)</p>
学習段階5	家族をつくることについて考えよう	1	<p>家族に対する問題</p> <p>前時の性別役割分業についての感想からプログラムを教師が考え、ロールプレイを行い、自己をみつめるようにする。いろいろな家族や家庭でのアクシデントの場面を寸劇で演じる。自分の家族は普通だ、自分の考えも普通と思っているけれどもいろいろあることに気づく。気づいたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>生徒の感想から性別役割分業に反対という意見をいいながら、隠れたジェンダーバイアスにとらわれている例をあげる。(ロールプレイ)(見通し2・3)</p>
学習段階6	子どもを育てることについて考えよう	2	<p>子どもを育てる</p> <p>2人一組になり、生卵を子どもにみたて1週間育てる。男女の性と名前を考え、2人で協力して育てることを伝える。1週間後、各自育てた感想をワークシートにまとめる。</p> <p>保育人形体験と実験</p> <p>保育人形を抱き、乳児の特徴を知る。紙おむつと布おむつの長所と短所を考えることにより子どもの視点から考えたり環境についても考える。また保護者からの話からこ</p>	<p>壊れやすいものを大事に扱うことにより、子どもを育てることを考えさせる。(体験学習)(見通し2・3)</p> <p>タイミングよく保育人形を提示し、授業のねらいをおさえる。また紙おむつと布おむつのぬれたときどんな気持ちになるのか体験することによって考えさせる。また乳児のいる核家族の例をあげ、男女の役割について考えさせる。(構成的</p>

			もを産み育てるということはどういうことなのか考える。最後に各自ワークシートにまとめる。	グループエンカウンター)(見通し1・3)
学習段階7	ライフコースを作ろう	1	ライフコースの作成 今まで学んできたことを参考に原稿用紙5枚以上10枚以下に自分のライフコースを書く。友達のライフコースと比較しながら自分のライフコースを検討する。	今までの学習の成果ができるように学んできたことを復習しながら行う。より具体的にまたその将来の目標に向かって自分が今何をしなくてはいけないのかわかるように書く。(見通し1・2・3)